



楽屋では本番に向けて児童たちが、さまざまな時代の衣装を着付けてもらったり、当時の化粧などをしてもらったりしていました

見て感じて、そして体験して――小中学校伝統芸能教室

心に響く伝統美

普段体験することが、めったにない日本の伝統芸能。この日、子どもたちは三味線や鼓の音色を生で聴き、華麗な日本舞踊を目の当たりにしました。心に染みる日本の伝統美を直に感じる事ができたのです。



1



2



3

①着飾った児童たちは、舞台上がって、歌曲「さくら」に合わせて舞を踊り、日本舞踊を体験しました ②高崎市の小中学生による白虎隊も登場し、華麗な舞を披露 ③邦楽体験も行われ、児童たちは音色のリズムに合わせて「さらし」を動かす体験も行いました ④舞台上がる囃子(はやし)担当の児童たち。歌曲「さくら」も、児童たちの手で奏でられました



4



Closeup
クローズアップ



子どもたちには、日本舞踊をはじめとした日本の伝統芸能の素晴らしさを、ぜひ知ってほしいですね。何より子どもたち自身の目で見て、聴いて、そして実際に触れて感じる事が大切です。

文化振興扇生 CLUB ※写真左から
出演総チーフ 西川 扇二郎さん
構成・進行 西川 扇生さん

神代の時代の山彦役



中野小学校6年
中村 友祐さん

神代の時代の山彦役を演じました。このような衣装を着ることはないので、おもしろかったです。舞台上がったら緊張しました。

江戸時代の娘役



長柄小学校6年
松森 姫羅さん

思ったより、かつらが重くて大変でした。今回の教室でよい経験ができました。着物も着られて、化粧もしてもらってうれしかったです。

初めての伝統文化・芸能体験

実際に出演した子どもたちは、何を感じ、何を思ったか…。



interview

出演した一部の児童にインタビューしました。

明治時代の学生役



長柄小学校6年
飯塚 七海さん

明治時代の学生なんて、この教室に参加するまで知らなかったの、まさか自分が演じるとは思いませんでした。むすかしかったです。

明治時代の女学生役



高島小学校6年
黒田 さつきさん

登場から舞台上まで緊張しました。日本舞踊を経験するのは初めてです。むすかしかったですけれど、よい経験になったと思います。

現代の女性役



中野東小学校6年
原 ゆいさん

今回出演できて、とても楽しかったです。勉強にもなりました。普段着物を着る機会はないので、今回着られてうれしかったです。



↑日本舞踊の長明「藤娘」を鑑賞しました



←日本の伝統音楽の学習・体験も行われ、和楽器の解説から、大太鼓による音響効果の説明まで行われました

記憶に残る伝統美

10月15日、中野小学校体育館で「小中学校伝統芸能教室」が開催され、町内4小学校の6年生が一堂に会して、日本の伝統音楽や日本舞踊などを実際に鑑賞したり、体験したりしました。この教室は県と県教育文化事業団、そして開催地の教育委員会が共催で行うもので、平成4年から県民芸術祭の一環の事業としてスタート。県内の小中学生に、日本舞踊の鑑賞と体験の機会を提供することにより、日本古来の伝統文化と芸能への関心を高め、豊かな情操を養うことを目的としています。教室では日本舞踊などの鑑賞も行われ、華麗な舞に子どもたちは、しばしば見入っていました。指導に当たった西川扇生さん(文化振興扇生CLUB会主)は、「長くこの活動を続けてきましたが、この教室を通して少しでも日本舞踊の素晴らしさを子どもたちから知ってほしいですね」と語ります。この日、何人かの子どもたちはそれぞれの衣装に身を包み、日本舞踊の体験をしました。舞台上上がったクラスメートに、見ている児童たちからも自然と笑みがこぼれていました。